

国土学事始め



大石久和

国土学アナリスト

日本の神話などと言えば、若い人たちからは「空想のあり得ない話ばかりで、読む価値などない」といわれるか、年配層からは「戦前に日本を戦争に駆り立てた皇国史観の

日本の神話の構造

ん。しかし、神話はそれぞれの民族の成り立ちをみんなで認識し合うためにまとめられたものであり、民族の歴史的记忆を含んでいると考えられるのです。

よく「日本文化は吹きだまりの文化である」といわれます。事実、遺

それが日本神話に痕跡をとどめていると考えられています。たとえば、イザナギ・イザナミの活躍する神話は南洋の伝承との類似が著しいといわれるし、海幸彦・山幸彦の物語もインドネシアやポリネシアの原住民から採取された神話ときわめてよく似た話を含んでいます。

この他にも、中国江南地方や大陸の奥深い地域の神話との類似性も見られるし、ギリシャ神話やスキタイ神話との関係も指摘されるなど、実に広域的な背景を内蔵している

原典であるから読んではならない」と拒否されるというのが相場なのかも知れません。

伝子構造を見ても現生人類はアフリカから3回にわたって世界に展開していったといわ

る」といわれます。事実、遺伝子構造を見ても現生人類はアフリカから3回にわたって世界に展開していったといわ

る」といわれます。事実、遺伝子構造を見ても現生人類はアフリカから3回にわたって世界に展開していったといわ

つても、過去の歴史上の出来事、つまり史実ばかりで綴られているものではありません。

遺伝子を持つているのは日本人だけだということです。

この他にも、中国江南地方や大陸の奥深い地域の神話との類似性も見られるし、ギリシャ神話やスキタイ神話との関係も指摘されるなど、実に

広域的な背景を内蔵している